

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

<先週の説教から>

『合同礼拝—イエスさまのおでしさん』

武田真治 牧師

マルコによる福音書 1:16~20

今日は『母の日合同礼拝』としておとなも子どもも一緒になって、神様に礼拝を献げています。この「母の日」を特別に覚えるようになったのは、1908年にアメリカのウェブスターという街の教会で、26年間も日曜学校の教師を奉仕されたクリスチャンの女性、ジャービスさんが亡くなり、その3年目の追悼記念礼拝の時に、実の娘さんがお母さんの大好きだったカーネーションで教会の会堂いっぱい飾って礼拝を献げた出来事から始まっていると言われています。以来、この母の日は世界的に広まって行ったのですが（＝今やアメリカではこの日が祝日となっています）、もともとは亡くなった（＝召天された方）を記念する“礼拝”を献げる時であったことを忘れないでほしいですね。

実は、聖書はもっとずっと前から、お父さんお母さんを大切にしようと語ってきています。それは、旧約聖書の大事な戒めである「十戒」の中に、5番目の大事な教えとして『あなたの父と母を敬え』とあるからです。お母さんを“敬う（＝尊敬する）”ことが大事なんですね。だから、こうしておとなも子どももいっしょに礼拝を献げているのは、みなさんで互いにお互いを大切に、尊敬することを表していることだから、何よりふさわしいことと思っています。

先ほど読んでもらった聖書の言葉は、日曜学校で続けて読んでいる箇所ですね。イエス様がお弟子さんたちを『わたしについてきなさい』と集められた様子を知らせてくれます。その声に最初に従って行ったのは、シモンさんとアンデレさんの兄弟とヤコブさんとヨハネさんの兄弟の4名でした。実は4人とも漁師さんだったのでした。でも、どうしてこの4人だったのでしょうか？

ひとつの考えとしては、イエス様がこの人こそはと特別に選ばれたという考え方がありますが、このようにたて続けに4人を次々と招かれておられるのは、どうも手当たり次第と

いう感じの方が強いように思えます。むしろ、イエス様はみんなに『わたしについてきなさい』と言われておられたと考える方が自然です。その招きに「すぐに」応えて行ったのがこの4人だったということではないでしょうか。

イエス様は今でも私たちひとり一人に“声を掛けて”くださっています。それは、例えば伝道者パウロさんのように、直接、イエス様の御声を聞くこともありますが、それだけではなく、いろいろな出来事や状況を通して、あるいは様々な人や本を通して、何より聖書を通して《み言葉》を語り掛けてくださっています。耳を澄ませば聞こえてきます。その御声に、自分なりに応えて行ければと願っています！

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 5月 24 (水) 20:00

II. 5月 25 (木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答

祈禱主題: ペンテコステ礼拝・ペンテコステコンサート・

関東教区総会を覚えて

担当者: (水) 三箇 (木) 丸茂

祈りに覚える人: 金刺さん 金刺さん

*ひつじ雲の会 (5月23日(火)) 13:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男 35 女 68 計 103

祈禱会 I. 男 5 女 4 計 9 II. 男 1 女 9 計 10

【次週=ペンテコステ主日礼拝】 5月 28日 (日)

聖書: 詩編 33:1~22

ヘブライ人への手紙 11:3

説教: 「ペンテコステ・詩編³³ — 世界も

人の心も造られる主」 武田 真治 牧師

讃美歌: 343(1)、32(1と2)、聖歌隊奉仕(476)

346(1と2)、430(1~3)、79(1~2)、28

【次週当番表】

司式: 坂田長老 奏楽: 村上 礼拝: 茨木長老

配餐: 相浦 齋藤 金刺 羽倉

保坂各長老

献金: 栗原 小岩 受付: 金刺 坂田

会堂準備: 大野 勝村 黒澤 鶴巻

西尾恵美

看板: 中村 週報: 金刺 お花: 飯島

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後: ・礼拝/伝道/牧会/教育/社会 各委員会

・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

・ペンテコステ・チャペルコンサート

(平澤 巧・ママクローバージョイントコンサート) 13:30~

2023年 5月 21日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>